

————— 中1・2生 虎の巻 —————

岐阜県

高校入試 **逆転合格**のポイント

家	庭	教	師	の	ト	ラ	イ
個	別	教	室	の	ト	ラ	イ

■ 入試情報

入試日	合格発表	内申点計算方法
■ 標準検査：3月7日（木）	■ 標準検査：3月14日（木）	1年生の学年末×1 2年生の学年末×1 3年生の学年末×2 合計：180点満点

■ 内申書情報

内申点は、中1～中3の成績が9科目5段階で評価され、以下のように計算されます。 $\{(中1：9科目 \times 5段階) + (中2：9科目 \times 5段階) + (中3：9科目 \times 5段階 \times 2倍)\} \div 4 = 45$ 点満点で換算されます。

■ 一般入試

岐阜県公立高校入試における合否判定の基準は、中1～中3の内申点と学力検査の総合判断となります。

学力検査では、原則全ての公立高校が、国語・社会・数学・理科・英語の5教科の試験を行います(100点満点×5教科)。内申点と学力検査の合否判定基準の比率は学校により幅があり、3:7、4:6、5:5、6:4、7:3から、各校が決定します。また、内申点・学力検査の他、実技試験や面接を実施する高校もあります。

このように、各校で試験制度に大きな差が生まれる場合もあるので、志望校ごとに事前に調べておくことをお勧めします。

■ 科目別対策

英語

- 毎日英語を読む
- 書く時間を作ろう

5W1H (What/Where/When/Who/Why/How) をポイントに内容を確認することで無駄なく訓練ができます。必須となる英作文は、合計6文も出題されていますので、普段から見たり、考えたりしたことを英語で表現する習慣をつけておく必要があります。問題条件を満たした簡単な文章を作る訓練が必要なため、何度も添削指導を実施していく必要があります。

数学

- 計算ミスをなくす
- 図形の苦手意識をなくす

小問の基本問題は早く解く訓練が必要なので、普段から意識して計算ミスをなくすように意識づけをしていきましょう。平面図形分野では、円に関する出題が多く、三角形の合同や相似などの証明問題が出題されているので、円の性質、三角形の合同条件を正しく覚え、証明の仕方を何度も類題で繰り返していく必要があります。

国語

- 自分の意見をまとめよう
- 記述問題に慣れよう

自分の意見を書く訓練を行うことが大切です。論点に至った経緯を確認して、理由づけを明確にすることで考え方を整理します。何も書かないということがないように、常に何か書くことを意識して取り組むようにしていきましょう。発表原稿や資料の他、新聞記事やポスターからも情報を読み取って記述することができるよう、さまざまな類題を演習にて慣れておく必要があります。

■ 科目別対策

理科

- **実験・考察問題がカギ!**
- **自分の言葉で説明する力をつける**

資料やグラフを読み取る思考力や記述にて説明する表現力を養う必要がある。地理的分野は、各国・各都道府県の自然・気候・産業・貿易などを中心に整理しましょう。歴史的分野は、各時代の政治・外交・社会・文化の特徴を押さえるとともに、年表を使って同時期の世界の出来事も押さえよう。

社会

- **思考力、分析力を養おう**
- **歴史は年表を使って覚えよう**

資料やグラフを読み取る思考力や記述にて説明する表現力を養う必要がある。地理的分野は、各国・各都道府県の自然・気候・産業・貿易などを中心に整理しましょう。歴史的分野は、各時代の政治・外交・社会・文化の特徴を押さえるとともに、年表を使って同時期の世界の出来事も押さえよう。

内申点

- **内申点の割合が高い**
- **定期テストが大きく直結**
- **提出物は中身にもこだわる**

合否判定における内申点の割合が高いのが岐阜県の入試の特徴です。

しかも中1の内申点から全て合否判定に加味されるため、1・2年生の定期テストや提出物、授業態度には慎重に対策を打たなければなりません。特に提出物は中身を評価するケースも多いので、仕上げしてから提出するようにしましょう。